



高橋 トミさん(佐須)

## 「までい」の思い出

—生活に息づいていた「までい」—

お正月といえばお餅。昔は白米がなくてご飯に麦を混ぜて食べていたぐらいですから、お餅はご馳走。家ではもち米のもみを「するす」という臼でひいてもみがらを取り、「とおみ」といわれる道具であおって、もみがらと米をわけ、臼と杵でもちをついていました。これらの道具はとても大切なもの。「までい」に使ってきちんと後片付けをしました。「とおみ」は今も家にあります。もつとも、ガラクタになってしまいましたが…。

あとは麦つき。以前は米が足りなかつたので麦を混ぜて食べました。私はこの麦ご飯は好きではなかつたけれど、それでもおいしく食べていました。昔仕方がなくて食べていた食べ物や食生活が、今健康食品や病気の予防に注目されているのも、不思議ですよええ。

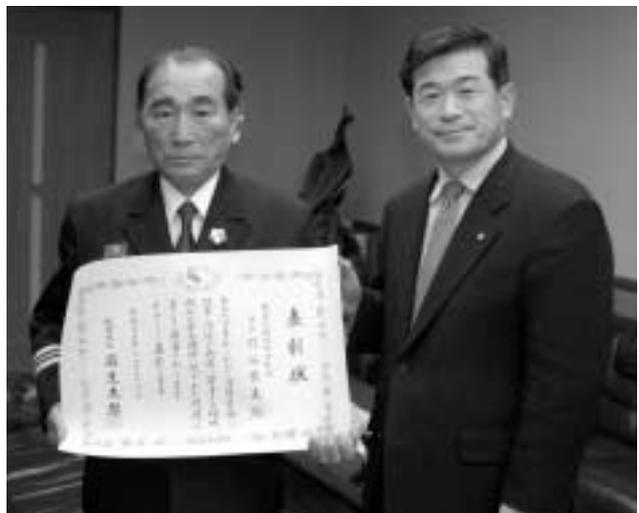
今年もお正月にはひ孫がやってきます。今はそれが楽しみです。

## 熊谷哲夫村消防団長に総務大臣表彰

地域防災・予防消防に尽力

11月26日付けで熊谷哲夫村消防団長が総務大臣から表彰を受けました。熊谷団長は、消防団に52年間在籍。平成2年からは団長として消防団をまとめ、地域の安全に貢献してきました。

表彰状の伝達式は12月12日に原町市にある県の合同庁舎で行われ、松本友作相双地方振興局長から熊谷団長に賞状が手渡されました。そのあと、村役場を訪れ菅野村長に受賞の報告をした熊谷団長は「今後みなさんの指導を受けながら、安心して住める地域を目指して頑張ります」と今後の決意を述べていました。



▲表彰された熊谷団長(左)